



2021年8月25日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 和 心  
(コード番号：9271 東証マザーズ)  
住 所 東京都渋谷区千駄ヶ谷三丁目 20 番 12 号  
代表者名 代表取締役 森 智 宏  
問合せ先 経 理 部 長 山 邊 伸 顕  
(TEL. 050-5243-3871)

### <マザーズ> 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

- 開催状況
- 開催日時 2021年8月25日 15:30~16:00
- 開催方法 ネットによるオンラインによる開催
- 説明会資料 2021年12月期 決算説明会資料

#### 【添付資料】

1. 投資説明会において使用した資料

※この書面（添付資料を含む）は、有価証券上場規程施行規則第427条に基づき、公衆縦覧に供されます。



2021年12月期

# 決算説明会資料

2021年8月25日  
株式会社和心  
東証マザーズ(9271)



1. 会社概要
2. 上期トピック
3. 業績説明
4. 下期戦略

# 会社概要

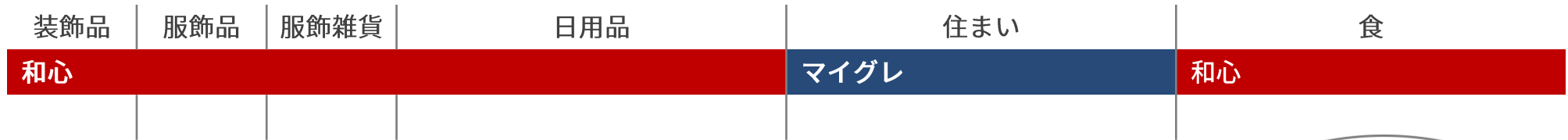


# 『日本のカルチャーを世界へ』

Japanese culture to the world

会社名	<b>株式会社 和心</b>		
設立	2003年2月7日（1997年7月創業）	役員	代表取締役社長 森 智宏
資本金	541,586千円（2021年6月30日）		取締役副社長 他力野 淳
本社	東京都渋谷区千駄ヶ谷3-20-12和心ビル		専務取締役 最上 夢人
店舗数	<b>47店舗</b> （モノ事業35店舗、コト事業12店舗）		取締役法人営業部長 小田桐新五
従業員数	<b>315名</b> （非正社員270名含）	子会社	マイグレ株式会社
事業概要	モノ事業	<b>和雑貨の企画・デザイン、製造、販売（店舗・EC）</b>	
	コト事業	<b>着物の着付・レンタル（店舗・EC）</b>	
	食肉事業	<b>食肉の卸売・小売（店舗・EC）</b>	
	マイグレ	<b>地方移住者向け不動産の仕入、改装、賃貸・売買</b>	

## 観光地から居住地、より生活の基盤に近いビジネスへ。



# 上期トピック





新型コロナウイルス感染症の拡大により、緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置が適用され、厳しい経営環境が続いている。

この環境下に対応すべく以下の施策を上期に実施済。

営業部門

3つのゼロモデルの推進

（売上原価ゼロ・店舗固定賃料ゼロ・店舗固定人件費ゼロ）

間接部門

固定経費の更なる削減

財務部門

増資による財務健全性の向上

# 上期トピック - 営業部門



高収益化の実現のために、売上原価ゼロ・店舗固定賃料ゼロ・店舗固定人件費ゼロの3つのゼロモデルを掲げて出店を進めた。

コストの削減はできたものの売上規模が小さく、会社全体としては厳しい結果に。

モノ	<ul style="list-style-type: none"><li>・既存店舗の業態変更 (売上の向上・在庫の効率向上)</li><li>・固定経費、イニシャルコストがかからない形態での出店</li></ul>
コスト	<ul style="list-style-type: none"><li>・固定経費、イニシャルコストがかからない形態での出店</li></ul>

# 上期トピック - 間接部門



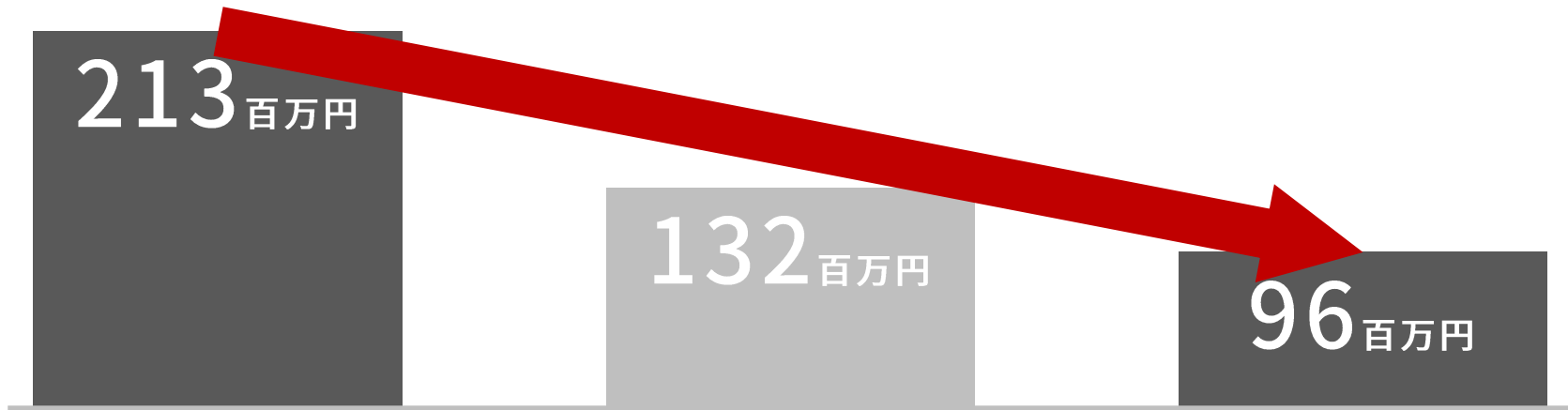
高比率の「人件費」削減は前期中に完了。  
当上期は次に比率の高い「賃料」を削減。

2020年1月

2020年12月

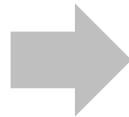
2021年6月

月次経費  
(販売管理費)



倉庫

千葉・京都・  
大阪



千葉・静岡



静岡

オフィス

東京・京都・  
大阪  
デザイン室2か所



東京  
デザイン室1か所

東京  
デザイン室1か所

# 上期トピック - 財務部門



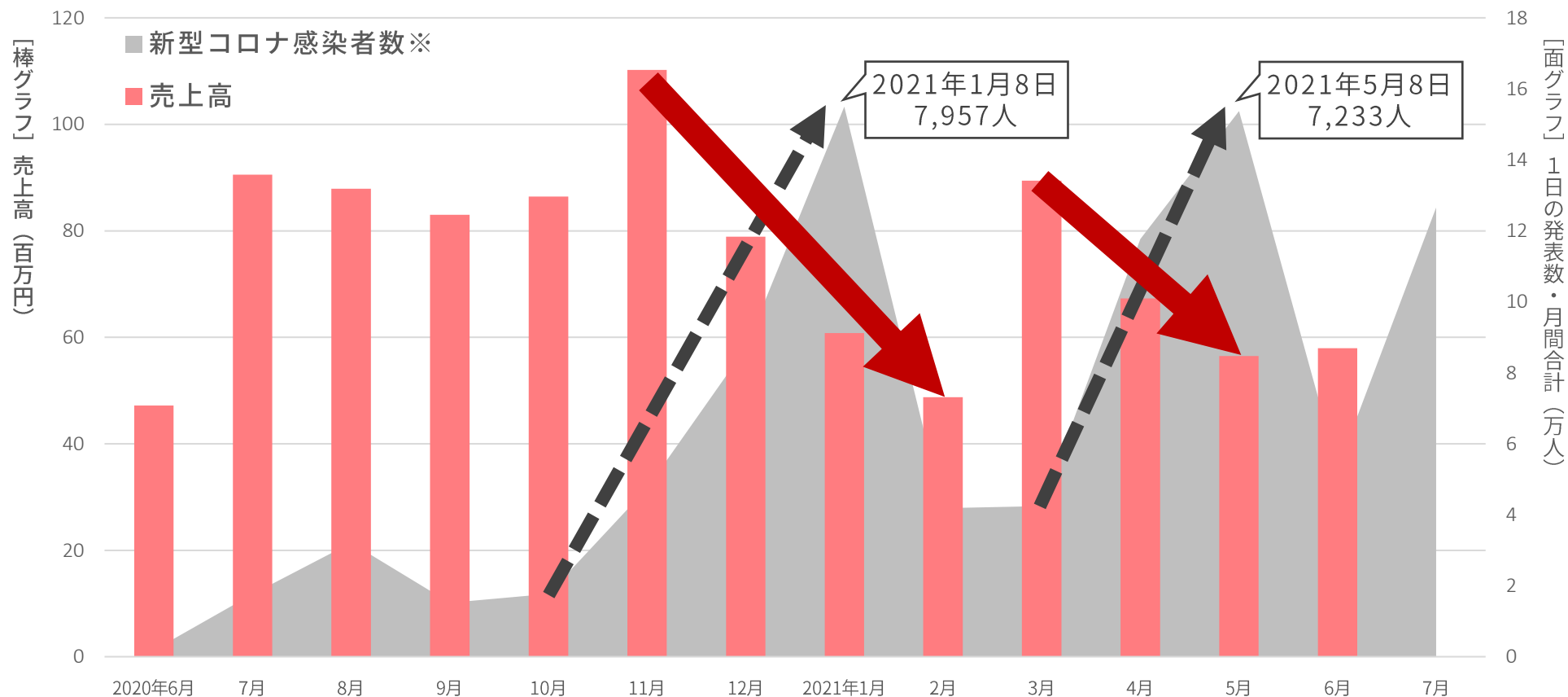
自己資本強化を目的として  
第三者割当増資による  
70百万円の増資を実行。

# 業績説明





度重なる緊急事態宣言、まん延防止等重点措置により  
売上高が減少する傾向が顕著。



※ 日本国内の感染者数 (NHKまとめ) より1日の発表数を月ごとに合計

# 損益計算書（2Q累計）



	2021年 第2四半期 実績	2020年 第2四半期 実績	増減率
売上高合計	382	751	△49%
内、モノ事業	339	516	△34%
内、コト事業	43	235	△82%
売上総利益	292	541	△46%
販管費	569	987	△42%
営業利益	△277	△446	+38%
経常利益	△281	△442	+36%
当期純利益	△285	△568	+50%

（単位：百万円）

店舗は新規感染者数の増加に伴う売上高の減少も、  
EC、法人営業部は好調。

営業利益については販管費の見直しにより大幅に改善。

# 貸借対照表

	2020年 年度末	2021年 第2四半期	増減		2020年 年度末	2021年 第2四半期	増減
流動資産	457	251	△206	流動負債	628	644	16
現預金	224	108	△116	買掛金	15	4	△9
売掛金	65	41	△24	短期借入金等	262	251	△11
商品	40	19	△21	未払金	193	188	△5
その他	128	82	△46	その他	155	201	46
固定資産	480	424	△56	固定負債	409	340	△69
有形固定資産	168	184	16	長期借入金	407	339	△68
無形固定資産	18	23	5	その他	1	1	0
投資その他資産計	293	217	△76	株主資本計	△112	△326	△214
繰延資産	0	—	—	純資産合計	△99	△309	△210
資産合計	938	675	△263	負債・純資産合計	938	675	△263

(単位：百万円)

業績不振により債務超過額が拡大。

# 下期戦略



緊急事態宣言下でも利益が出る体質への変革を実行。

## 既存事業

- ・ 全赤字店舗の閉鎖
- ・ 催事の強化
- ・ IT化

## 新規事業

- ・ 食肉事業
- ・ 子会社（マイグレ）

## 財務戦略

- ・ 手元資金の確保
- ・ 債務超過の解消

# 下期戦略-既存事業



店舗削減効果は2021年上半期実績値で+93百万円。

売上が大きかった店舗は赤字でもねばってきたが、大胆にあきらめます。赤字店舗は全店閉める。



今後は毎月15百万円の営業利益に寄与。

催事出店を更に進める。

評価減済の既存在庫（売上原価ゼロ）を活用し、固定賃料・固定人件費を要せず営業利益を獲得。



7月に国分寺丸井に出店の傘は15日間で売上4,943千円、利益2,857千円を達成。



7月6日(火)-7月20日(火) 北斎グラフィック@国分寺丸井




人員の増員・外部コンサルの更なる活用も含め強化。

	オフライン	オンライン
モノ	 <p>店頭販売</p>	 <p>ネット通販</p>
コト	 <p>店頭レンタル</p>	 <p>宅配レンタル</p>

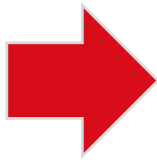
# 下期戦略-新規事業 (食肉事業)

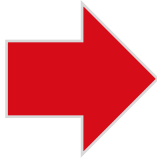


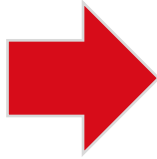


食肉事業をはじめます。

既存の経営資源を利用して**売るものだけを変更**します。

和小物**卸売業**            食肉**卸売業**

和小物**通販業**            食肉**通販業**

和小物**小売業**            食肉**小売業**

# 下期戦略-新規事業 (子会社)





コロナの波に乗ったビジネスとして、賃貸物件に続き  
宿泊施設が8月グランドオープンし、非常に好調。  
年内4施設まで増やす予定です。



# 下期戦略-財務戦略



- **手元資金の確保**

経費については大幅に削減を進めてきたが、  
下半期で更に20百万円の削減を行い手元資金の確保に努める。

- **債務超過の解消**

エクイティファイナンスの実行により債務超過の解消を目指す。

既存のMSワラント活用により現時点においても債務超過を大幅に解消することが可能だが、現在の低い株価の下では無駄な希薄化が生じるため、まずは株価の向上を目指す。





当資料に記載されている意見や予測は、当資料作成時点における当社の判断に基づき作成しております。  
これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招きうる不確実性を含んでおります。  
それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。  
今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本資料に含まれる情報の更新・修正を行う義務を負うものではありません。